

## ディーラーの独り言（2018年6月19日）

### ◆本日の予想レンジ

ドル円 110.00～110.80 ユーロドル 1.1570～1.1670

18日の外国為替市場は、前週末からの米中通商問題を背景とした貿易戦争への警戒感からドル円は110円台半ばを中心に小動きが続いた。週明けの東京市場では、大阪北部地震の影響から日経平均株価が寄り付きから終日マイナス圏で推移する中、ドル円も一時110円30銭の安値を付けたが、引けにかけて日経平均株価が下げ幅を縮めるとドル円も徐々に下値を切り上げる展開となった。また、欧州時間序盤に、ドイツでメルケル首相率いる与党が、移民問題を巡って政権内で亀裂が深まっている状況を受けて、ユーロが一時1.1560ドル台まで売られ、対ユーロでドル買いになったこともドル円の支援材料となったようだ。ただ、ドル円の反発も110円61銭に留まり、早朝に付けた110円67銭の高値には届かず、ニューヨーク時間では110円50銭を中心に上下約20銭の小幅レンジとなった。

こうした値動きの中、昨日は押し目買い戦略で臨んだ。先週金曜日に110円70銭台で売り、今週に持ち越していたドルショートポジションを110円40銭割れで買い戻して利益を確定した。さらに新たに同水準でドルロングに傾けて、ドルの反発を待ったものの期待した利食い水準に届かなかったため、本日にポジションを持ち越した状態だ。ドル円については、米中通商問題を巡って111円をなかなか超えられず頭の重い展開が続いている。ただ、先週の日米欧中銀による一連の金融政策会合を終えて、日銀と米欧の金融政策の方向性の違いが浮き彫りとなり、改めてその金利差が意識されやすいことがドルの下値サポート要因となりそうだ。本日も押し目買いを継続し、110円20銭割れで買い、110円60銭超えで売る戦略で臨みたい。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。